



七小だより

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino7/>



No. 4

令和6年7月1日(月)
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907



人とのかかわりを通して

校長 大西 浩之

今年の学校経営方針の柱一つに「すべての“いのち”がつながり輝く笑顔」を掲げています。これは、多様な人とのかかわりの中で思いやりのある具体的な行動をすることで、周囲の一人一人が大切にされるとともに自分も大切にされ、必要とされることを通して、自己有用感を高めてもらいたいとの思いを込めています。

自己有用感という、似たような言葉として自己肯定感を耳にすることがあると思いますが、国立教育政策研究所ではこれらをイコールとしてはいません。自己肯定感(自尊感情)は自己に対して肯定的な評価を抱いている状態にあるのに対して、自己有用感は同じように自己に肯定的な評価を抱いていても、その要因が他者とのかかわりの中で生まれてくるとしています。すなわち、他人の役に立った、他人に喜んでもらった経験を通して、自分に自信をもてるようになり肯定感が高まるとしています。例えば、クラスで一番足の速い子がリレーの選手に選ばれば、自分の足の速さに自信をもつことになりませんが、周りから褒められ、認められてきた子は、「選手に選ばれたのだからみんなのために頑張りたい」と、「足の速さ」に対する自己肯定感よりも、むしろ「みんなのために自分のよさを生かそう」と肯定的な感情を周囲へのかかわりに生かそうとしていきます。だから自己有用感に裏付けられた自己肯定感が大切で、この自己有用感の高まりが社会性の基礎になるのです。

本校では子供たちが自己有用感を得られるために、学級での当番や係活動の他、たてわり班活動や委員会・クラブ活動といった異学年でのかかわりを大切にしています。授業においても友達との協働的な学びを通して育むことができます。昨年度、試行的に行った「たてわり学習会」も今月16日を第1回目として学期に1回行います。また、校内研究「地域がステージの学び」でも様々な人とのかかわりや本物の体験機会を多く設けています。これらを通して子供たちが地域への思いを大切に、豊かな人間性と社会性の素地を築いてもらいたいと考えています。

(国立教育政策研究所:「自尊感情」それとも、「自己有用感」?)

<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf18.pdf>)

7月の行事予定

1	月	委員会④・読み(1)
2	火	パフォーマンススキップ・トーキョー(4)
3	水	6時間授業(6)・小中連携(大坂上中)・保護者会(4)
4	木	避難訓練・保護者会(2)
5	金	保護者会(3)・安全指導・たてわり班活動
6	土	
7	日	
8	月	クラブ③・読み(2)
9	火	5時間授業・ステップ指導終
10	水	保護者会(6)
11	木	5時間授業(5)・保護者会(5)・4時間授業(1)
12	金	保護者会(1)・がん教育(6)
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	たてわり学習会【算数】3h
17	水	校内研授業②・4時間授業・B時程
18	木	給食終・4時間授業・たてわり班会議
19	金	B時程・午前授業・終業式・水泳指導終
20	土	
21	日	夏季休業日始
22	月	
23	火	サマースクール①
24	水	サマースクール②
25	木	サマースクール③
26	金	サマースクール④
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

※行事等については変更・中止となる場合があります。

7月の目標

生活指導目標 「身の周りの物を大切にしよう」

「学校外での挨拶をきちんとしよう」

保健目標

「暑さに負けない体をつくろう」

給食目標

「決められた時間内に食べられるようにしよう」

◎一人ひとりが多様な学び方を身に付け、探究的に深く学ぶために

指導教諭

あるクラスの社会の時間の様子です。調べたいテーマを自分たちで決めた後、ある子は教科書をもう一度見直して調べています。ある子はインターネットの教育用動画の中から自分に必要な動画を選んで見えています。また、一人でじっくり考えながら調べている子もいれば、似たようなテーマの友達と一緒に調べたり、先生に分からないことを質問したりしている子もいます。そして、最後に、自分が調べたことで、ぜひみんなに教えたいと思ったことや、みんなに聞いてみたいことをクラス全体で共有をしていました。

このように、七小では、クラスや学年の実態、教科の特性に合わせて、一人ひとりが多様な学び方を身に付け、探究的に学ぶことができるような授業を試行錯誤しながらめざしています。

小学校6年間の中で、児童一人ひとりが、自分に合った学びとはどのようなものなのか、みんなで学ぶよさとはどのようなものなのか、自分の学びをふり返りながら、実感していけるようにしていきたいと考えています。

◎ハケ岳移動教室の様子

5学年担任

5年生は6月4日（水）・5日（木）の2日間で、ハケ岳移動教室に行ってきました。

関わっていただいた全ての方々のおかげで、2日間大きなケガや事故もなく無事に帰ってくる事ができました。様々な活動を通して、子供たちは自主性や協力することの大切さ、思いやりや感謝の気持ちを大自然の中で学んでくる事ができました。



◎ 日光移動教室を終えて

6学年担任

6月20日（木）～6月22日（土）の3日間、日光移動教室に行ってきました。

梅雨の時期なので天候が心配でしたが、1日目は晴天、2日目は午後から雨でしたが、3日目には上がり、晴天で過ごすことができました。2日目のハイキングでの雨も小雨だったため、予定していた行程をすべて実施することができました。お互いに手伝ったり助け合ったり協力して生活する様子、時間を守って行動しようとして声を掛け合う様子などを見て、子供たちの成長を感じました。また、動物を見たときや刈込湖を見た時の子供たちの表情がとてもよかったです。自然に感動していました。引率の先生方は、6年生の良い思い出になるように、笑顔で優しく全力でサポートしてくださいました。

今回の日光移動教室も、様々な人たちの支えがあり、無事に実施することができました。常に児童が「感謝」の気持ちを大切に過ごしていけるように、担任一同支えていきます。

6年生の保護者の皆様、健康観察や荷物の準備などいろいろとご協力いただきありがとうございました。

